

富士山 須走口

山スキー

2022年04月30日(土)

L: 桐林

4月30日朝0時半に浜松を出発。行きは高速で。3時半ごろ須走5合目駐車場に到着。5時手前に出発。融雪が進み、1週間で溶岩の島が多くできていた。前日と翌日ともに、平均風速が15m/sとの予報。翌日朝の最低が-8℃の冷え込み。これはカチカチかなと予想するも、まずは富士山を知ろう。体感しに行った。



8合目 3330m

予報通り、風が強く樹林帯にいた時は良かった。砂払5合目以降風がまともに当たってきた。撤退の文字が浮かんできた。撤退にしても滑れるところまでの気持ちで前へ進んだ。地形的に風を受けないところがあるのではないかと、夏道に行ったり、二組に分ける尾根に登ったりと、横に忙しいかった。時折、小石程度の溶岩が落ちてきた。沢床を歩かないように、上を見上げるようにしていた。前週の高所順応のおかげで、3000mを超

えるのに苦労しなかった。およそ3時間。300m/h以上の標高を獲得していった。本7合目に着いたは良いが、8合目までが辛い。鳥居が3本見え、全然近づかない。一番上が久須志神社だろう。結局、8合目の鳥居をくぐり抜け、10時半に終了。シールハイクをしたのは30分程度。表面が凍っていると全く効かない。アイゼン歩行で800m上げた。

滑降と決まれば気持ちは昂ってくるというもので、滑りながら鳥居を通過。さあ最初のターンは！？あれ、硬い。エッジが引っかかる。怖くてターンができない。トラバースし柔らかいところを探すもない、転倒できない。これは困った。溶岩島でキックターン、これが富士山か、恐るべし。天気と相談して、ここを安全に滑ってみたい。その後の湿雪の豪快なターンを決めながら、来週に思いを馳せた。



カチカチ斜面のトラバース